

2016.3.27 鈴木慶一 with マージナル・タウン・クライヤーズ



## プロフィール

<メンバー>

鈴木慶一 (Vo&G)  
トクマルシューゴ (Cho, G&Dr)  
ダスティン・ウォング (Vo&G)  
佐藤優介 (Cho&Key)  
岩崎なおみ (Cho&B)  
上野洋子 (Cho&Acc)  
あだち麗三郎 (Cho, Dr&Sax)

鈴木慶一は、1970年にあがた森魚と出会ったことがきっかけで本格的に音楽活動を開始。翌1971年にはバンド"はちみつばい"を結成して、今では当たり前となっている、ロックサウンドに日本語の歌詞を載せるという、いわゆる日本語ロックの可能性を打ち出した先駆者です。

この"はちみつばい"は、アルバム『センチメンタル通り』を発表した後に解散しますが、これを母体に、鈴木慶一は、新たなバンド、ムーンライダーズを結成。1976年にアルバム『火の玉ボーイ』でデビューしました。長きに渡るムーンライダーズでの活動のかたわら、高橋幸宏とのユニット"ビートニクス"や、実弟の鈴木博文とのTHE SUZUKIの他、様々なプロジェクトで演奏活動を行う他、膨大なCM音楽の作編曲、演歌からアイドルに至るまで幅広い楽曲提供、プロデュースも行い、日本の音楽界に多大なる影響をあたえてきました。

2012年に発表したソロアルバム『ヘイト船長とラヴ航海士』は、第50回日本レコード大賞優秀アルバム賞を受賞。映画音楽では、北野武監督の『座頭市』で日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞したのは記憶に新しいところです。

そして、今回のライブのメインとなるソロ最新作『Records and Memories』は、鈴木慶一のミュージシャン生活45周年を記念して2015年に発表されたものです。バックバンドを務めるマージナル・タウン・クライヤーズには、トクマルシューゴ、ダスティン・ウォング、あだち麗三郎、佐藤優介、岩崎なおみ、上野洋子という大変個性豊かなメンバーが集結。素晴らしい演奏を聴かせてくれます。

## プレイリスト

01. 男は黙って・・・
02. 愛される事減ってきたんじゃない?ない
03. 無垢と莫連、チンケとお洒落
04. ひとりぼっち収穫祭
05. Mt.,Kx
06. 歩いて、車で、スプートニクで
07. DOHRO NIWA
08. 雨は、今日も、やみそうにない
09. Witchi-Tai-To
10. Memories